

福井再生を語る松宮勲元経産副大臣

トップの判断にかかっている!

原発におんぶに抱っこでは、次世代産業が育たない。今、福井県の経済活性化に何が必要か。北陸新幹線金沢・敦賀間開業直前に、日本経済に精通する松宮勲元経産副大臣に忌憚のないご意見をいただいた。(3月6日、品川プリンスホテルに於いて)

所詮、井の中の蛙
石川と福井の違い

——政界を引退した後、東京で活躍される松宮勲先生は、福井県がどのように見えるか。松宮勲元経産副大臣 私は2000年6月に当選させて頂いた。当選1年目で、運輸委員会や予算委員会など各委員会で北陸新幹線整備について質問に立った。当時、栗田知事と亀井静香政調会長を合わせるなど各般に陳情を重ねた。北陸新幹線金沢・敦賀間整備事業を決定したのは民主党政権だ。2009年に民主党政権が誕生し、長崎県選出の高木義明議員が西九州新幹線の佐賀～長崎間を、私は北陸新幹線の金沢～敦賀間の財源確保や早期認可に向けて2人が中心となって動いてきた。自民党は野党であり、石川の森喜朗元総理も福井の高木毅さん、稲田朋美さんも、さ

ほど汗を流していない。

2012年6月に金沢・敦賀間の工事実施計画認可があり、8月に起工式が行われた。

西九州新幹線も同年6月に、武雄温泉・長崎間で標準軌による工事実施計画の認可を受け、2022年9月23日に開業した。

金沢・敦賀間もようやく開業を迎え、石川県の馳知事以下の連名で、3月16日に加賀市で行われる開業式および祝



松宮 勲(まつみや いさお) 1944(昭和19)年5月28日生まれ。東京大経済学部卒。元通産省大臣官房審議官。2000年に自民党から福井1区に出馬し初当選。2期目の03年に第2次小泉内閣で外務政務官を務めたが、郵政民営化に反対して05年の総選挙で落選し離党。その後民主党入りし、09年に福井3区から出馬、比例代表で復活当選。2012年の第3次野田改造内閣で経済産業副大臣に就任。同年12月福井3区から出馬するも落選。その後、政界を引退。この間、経済産業副大臣、外務大臣政務官、副幹事長、国会対策特別副委員長、党常任幹事、沖縄北方問題対策特別委員会筆頭理事、文部省科学委員会筆頭理事、拉致問題特別委員会理事、科学技術・イノベーション推進特別委員長等を歴任。